

「国難」なんの団結



に見える。

現在の浜松市は2005年7月、当時の浜松市、浜北市、天竜市、舞阪町、雄踏町、細江町、引佐町、三ヶ日町、春野町、佐久間町、水窪町、龍山町の12市町村が合併して誕生した。東西約52キロ、南北約73キロ、

昨年は「直虎ブーム」に沸いた浜松市が、「国難」に直面している。ドラマでは、戦国時代の女城主・直虎が駿府、甲斐、岡崎などの大國に翻弄されながら、浜名湖北の小國「井伊の國」を守り抜いたが、平成の浜松市は今、「大國」故の悩みにもがいているよう

総面積約1559平方キロという全国有数の巨大市は、天竜川や浜名湖、「天竜美林」で知られる北部の山村部など豊かな自然環境と、浜松駅を中心とした都市部が共存した魅力あふれる都市を目指した。07年4月には政令指定都市になり、先に指定市

になった静岡市と並んで県を2分する自治体となった。

悩みは、ここから始まる。それまで広大な地域に共存していた12市町村を七つの行政区に再編してスタートしたが、人口密度や都市機能などの異なる地域がモザイク状となった巨大自治体に大きな環境の変化が押し寄せた。人口減少と超高齢化、社会保障費の増大、インフラの老朽化などである。

その中で現行の七つの行政区体制では福祉・保健・土木など暮らしに密着した行政サービスを円滑に行うことがむずかしくなった。

同市では今、行政と議会が行政区の再編作業に取

り組んでいる。6月中旬に再編の必要性和再編案を地域住民に説明、来年2月には市議会でも再編の有無を審議するスケジュールだ。住民への説明会では、具体的な区再編案や再編後の住民サービスの姿を示すなどして、自分たちの住む地域の将来を自ら選択するよう呼びかけている。

「風揚げ」で知られる浜松まつりには、今年も大型連休中に177万人の人数があった。自治体の悩みをよそに、初子の出産を祝い健やかな成長を願って、町衆が引く「祝い風」が、今年も大空に舞い上がった。

(前静岡県監査委員・富永久雄)



初子祝いの風揚げ＝浜松市南区、全日写真・辻村友博さん撮影